

商品名 オルメサルタン錠5mg「オーハラ」 医薬品基本情報

薬効	2149 その他の血圧降下剤	一般名	オルメサルタンメドキシミル5mg錠
英名	Olmesartan OHARA	剤型	錠
薬価	10.40	規格	5mg 1錠
メーカー	大原薬品	毒劇区分	

オルメサルタン錠5mg「オーハラ」の効能・効果

高血圧症

オルメサルタン錠5mg「オーハラ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、アリスキレンフマル酸塩投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 両側性腎動脈狭窄、片腎で腎動脈狭窄、高カリウム血症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 手術前24時間	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	希望禁止
4. 腎機能障害、血清カリウム値が高くなりやすい、コントロール不良の糖尿病、脳血管障害、嚴重な減塩療法中、重篤な腎機能障害、血清クレアチニン値3.0mg/dL以上、血液透析中、軽度又は中等度の肝機能障害<Child-Pugh分類スコア：5～9>	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

オルメサルタン錠5mg「オーハラ」の副作用等

1. 血管浮腫、顔面腫脹、口唇腫脹、咽頭腫脹、舌腫脹、腎不全、高カリウム血症、ショック、失神、冷感、嘔吐、意識消失、黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、血小板減少、低血糖、脱力感、空腹感、冷汗、手の震え、集中力低下、痙攣、意識障害、筋肉痛、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、アナフィラキシー、そう痒感、全身発赤、血圧低下、呼吸困難、アナフィラキシーショック、体重減少、重度下痢、腸絨毛萎縮、発熱、咳嗽、胸部X線異常、間質性肺炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. 過敏症、そう痒、貧血、下痢、嘔気、嘔吐、口渇、口内炎、胃部不快感、便秘、腹痛、心房細動、動悸、ほてり、胸痛、頻尿、浮腫、異常感、浮遊感、気分不良、胸部不快感、筋肉痛、脱力感、疲労、しびれ、味覚異常、脱毛
3. 発疹、赤血球数減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット減少、白血球数増加、血小板数減少、めまい、立ちくらみ、ふらつき感、頭痛、頭重感、眠気、軟便、ALT上昇、AST上昇、γ-GTP上昇、LDH上昇、ALP上昇、BUN上昇、血清クレアチニン上昇、尿蛋白陽性、尿沈渣陽性、CK上昇、CRP上昇、トリグリセリド上昇、血清カリウム上昇、尿酸上昇、全身倦怠感、咳嗽
4. 重篤な肝機能障害
5. 急速に腎機能悪化、一過性の急激な血圧低下、腎不全、頭蓋形成不全、肺形成不全、腎形成不全、死亡、羊水過少症、低血圧、高カリウム血症、四肢拘縮、頭蓋顔面変形、出生仔腎盂拡張、出生仔死亡、出生仔体重減少、出生仔体重増加抑制、生後分化遅延、脳梗塞

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明
記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

オルメサルタン錠5mg「オーハラ」の相互作用

1. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	非致死性脳卒中・腎機能障害・高カリウム血症及び低血圧のリスク増加
理由・原因	レニン-アンジオテンシン系阻害作用が増強

投与条件	糖尿病患者に使用する場合（ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く）
指示	禁止

2. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	-
理由・原因	レニン-アンジオテンシン系阻害作用が増強

投与条件	eGFRが60mL／min／1.73m ² 未満の腎機能障害
指示	原則禁止

3. 薬剤名等：カリウム保持性利尿剤

発現事象	血清カリウム値が上昇
理由・原因	本剤のアルドステロン分泌抑制作用によりカリウム貯留作用が増強

投与条件	-
指示	注意

4. 薬剤名等：カリウム補給剤

発現事象	血清カリウム値が上昇
理由・原因	本剤のアルドステロン分泌抑制作用によりカリウム貯留作用が増強

投与条件	-
指示	注意

5. 薬剤名等：利尿降圧剤

発現事象	一過性の急激な血圧低下	投与条件	-
理由・原因	利尿降圧剤で治療を受けている患者にはレニン活性が亢進している患者が多く、本剤が奏効しやすい	指示	注意

6. 薬剤名等：リチウム製剤

発現事象	中毒	投与条件	-
理由・原因	ナトリウムイオン不足はリチウムイオンの貯留を促進するといわれているため、本剤がナトリウム排泄を促進することにより起こる	指示	注意

7. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	注意

8. 薬剤名等：アンジオテンシン変換酵素阻害剤

発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	注意

9. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	降圧作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	非ステロイド性消炎鎮痛剤は、血管拡張作用を有するプロスタグランジンの合成阻害作用	指示	注意

10. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	腎機能を悪化	投与条件	-
理由・原因	プロスタグランジンの合成阻害作用により、腎血流量が低下	指示	注意

オルメサルタン錠5mg「オーハラ」の配合変化

1. 薬剤名等：メトホルミン塩酸塩製剤

発現事象	変色	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

2. 薬剤名等：カモスタットメシル酸塩製剤等

発現事象	変色	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.